

平成22年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

担当研究科名	人間・環境学研究科				授業の場所	吉田南総合館402演習室			
授業科目名	日欧知識交流史 (テーマ:江戸時代の東西博物学交流)				講義担当者 所属・氏名	人間・環境学研究科 松田 清			
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単位	開講 期	前期	曜時限	火1限 (8:45-10:15)	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
江戸時代における東西博物学交流の実態を文献学的に解明することを通して、日本・中国・西欧における知の伝統と革新の動態的構造について理解を深める。									
【研究科横断型教育の概要・目的】 理系文系の違いを超えて、知の文明交流史、知の歴史的パースペクティブを得ることは京都大学の大学院生に必要と考える。18世紀の東西博物学交流史はそのための格好の材料を提供している。日本の学問の伝統を江戸時代にまでさかのぼり、幅広い文明史観を養成したい。									
〔授業計画と内容〕									
大槻玄沢一門が種々の蘭書をもとに編訳した「蘭畹摘芳」の筆録本(全 39 冊、1810 年頃成)より本文を抄出し、以下の分析視点から、東西博物学交流の実態を文献学的に解明する。 1. オランダ語原書にみる西欧博物誌 2. 原文と訳文の比較による翻訳文化史 3. 参照された中国本草書 4. 洋風画家石川大浪による挿絵の典拠とルーツの解明									
〔履修要件〕									
18～19世紀日本およびヨーロッパの学術文化に関する基礎知識を有することが望ましい。 ※演習室(定員20名)で行うため、受講者を抽選により20名に制限予定。第1回講義に出席すること。									
〔成績評価の方法・基準〕									
1. 講義内容に関する筆記試験(最終授業時間に実施) 2. 受講生毎の個別テーマに関するレポート を総合して評価する。									
〔教科書〕									
教室でプリント教材を配布する。									
〔参考書等〕									
『蘭畹摘芳』(江戸科学古典叢書31、恒和出版、1980) 『講談社オランダ語辞典』 勝盛典子『近世異国趣味美術の史的研究』(臨川書店、近刊)									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
博物館などにおける関連の展示を見学することが望ましい。 オフィスアワー: 水曜日 4時限 吉田南総合館432室 ※ただし、メールにて事前に連絡すること。 (連絡先 dodonaeus (at) gmail.com)									